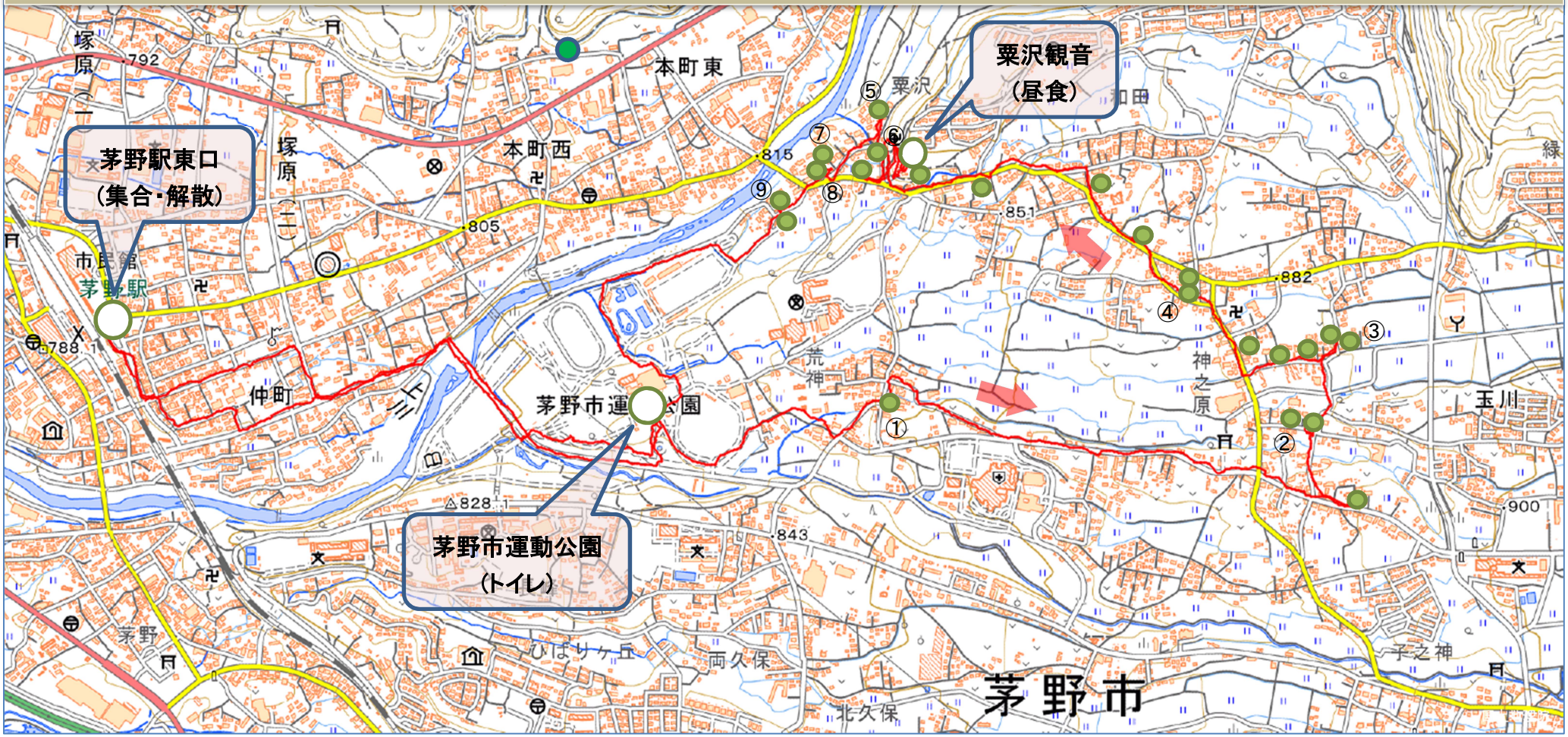
茅野市玉川の鏝絵巡り　鏝絵巡りシリーズ・茅野市玉川編

・**距離**　約１０ｋｍ　　・**所要時間**　４時間３０分　　・**スタート･フィニッシュ**　茅野駅

・**コース**

茅野駅→茅野市運動公園（トイレ）→荒神（鏝絵１件）→神之原（鏝絵１０件）→粟沢（鏝絵４件）→粟沢観音(昼食）→粟沢（鏝絵６件）→茅野市運動公園（トイレ）→茅野駅



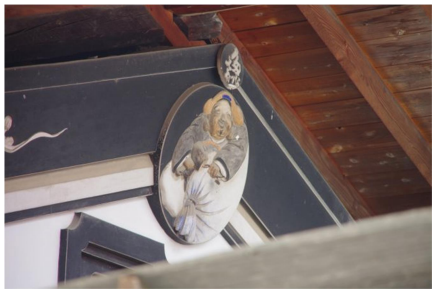
今回は茅野駅から徒歩だけで回れる範囲の粟沢・神之原地区の鏝絵巡りです。粟沢は左官さんが多くいた地区とのことで、限られた範囲に色鮮やかで完成度の高い作品が集中しており、職人さん達が技を競い合っていたのではないかと想像してしまいます。

昼食時に立ち寄る粟沢観音は周囲を見下ろす高台にあり、地元の石工による灯籠や仁王門の石造の仁王像、伽藍の四方の彫刻など地域で守られてきた文化財だなと感じます。

今回のコースで私が把握している鏝絵は 22 ヶ所です、一緒に鏝絵巡りを楽しみましょう。

① 「松に鷹」。保護版に覆われていてわずかな隙間からの見ることができるこの鏝絵。筆で描いたかのような繊細な作品です。

④ ここからは神之原集落。母屋の一部が蔵になっている家の窓枠にかかる丑鼻に描かれた龍。龍が持っている玉だけ金色に着色して印象的な作品です。



⑦ これもまた立派な大黒様。ふくよかな顔、笑った表情も実によく描かれています。ハナブカに描かれた文字は何でしょう？

② 波打ち際の岩場に立つ亀、砕ける波、暗い背景で夜空に舞う二羽の鶴。繊細に描かれた印象的な逸品。

⑤ 描かれた文字は「宇志山」かな、するとこのお宅は牛山さん？モノクロですが渦を巻いたような背景、波しぶきと一緒に大胆に描いています。

⑧ 岩場に砕ける波しぶき、そして二匹の亀。これも丁寧に描かれています。

③ トカゲ、ヤモリ、それともサンショウウオ？シンプルですが、この図柄は珍しい。ちょっと不気味な動物ではありますが、どんな願いが込められているのでしょう。

⑥ ここにも大黒様、③と同じ職人さんの作品でしょうか。袋の口は丑鼻の円形部分からはみ出し、黒い衣はしわの起伏までよく描かれています。

⑨ この家の姓の文字を持ち高く掲げているのは大黒様でしょうか。これも珍しい図柄で精細な作品。ハナブカの「龍」も珍しい。

（八ヶ岳歩こう会編）